

京大、全日空提携

環境保護 講師派遣、航空券値引き

京大と全日空は二十一日、環境教育や環境保護活動で協力する合意書に調印した。大学が持つ多彩なフィールドワーク拠点を活用した市民講座に、全日空が割安で航空券を用意するほか、全日空主催の市民参加の植林活動に、大学が講師を派遣するなどの活動を来春から始める。環

境保護を目的に大学と航空会社が協定を結ぶのは初めて。

京大はこれまで旅行会社と提携、国内屈指の天然林、芦生研究林(京都府美山町)を活用した環境教室

などを開催。全日空は今年から、全国四十九空港の周辺で市民参加の植林活動「私の青空・森づくり」を

始めており、互いの協力で大学側は講座の「集客力アップ」を、全日空側は植林活動に、より専門的な内容を導入することが出来る。

将来は、沖縄のサンゴ礁の再生活動現場の見学などを共同で計画することにしており、京大フィールド科学研究センターの田

中克・センター長は「航空会社の利点を生かして多くの人に自然の大切さを伝えたい」と話している。